

協働パイロット事業(H 2 0) 企画提案書

団体名：

1. 事業の名称

--

2. 事業方針(市民ニーズや協働で取り組む意義を踏まえてください)

--

3. 協働にあたって提案団体が果たす役割及び行政に望むこと

--

4. 成果目標(できる限り具体的に表現してください)

--

団体名：

5. 事業計画

Blank area for business plan.

6. スケジュール

Blank area for schedule.

団体名：

7. 実施体制および主要スタッフの経歴

8. 特にアピールしたいこと（専門性、独自性、先駆性、実績など）

協働パイロット事業「企画提案書」記入の手引き

1. 事業の名称

事業名は、一番初めに見られるものです。市民や審査委員に好感を持たれ、印象に残るような親しみやすく、わかりやすい事業名を考えましょう。

2. 事業方針

事業を提案する理由や問題意識、きっかけなどをわかりやすくまとめ、それらを解決し、実現していくための事業方針を明らかにしましょう。

3. 協働にあたって提案団体が果たす役割及び行政に望むこと

協働パイロット事業は、提案団体と市が協働して行う事業です。それぞれの特性を生かした役割分担が成功の鍵となりますので、整理しておきましょう。課題部門では、NPO、地縁団体、市の三者の役割分担がポイントになります。

4. 成果目標（できる限り具体的に表現してください）

事業を実施することで得られる成果を示してください。必ずしも、数値目標である必要はありません。

5. 事業計画

何を、どのように、どこで行うのか、実施する事業内容を具体的に記載してください。

6. スケジュール

事業の準備段階から、報告書の作成まで、無理のないスケジュールを記載してください。

7. 実施体制および主要スタッフの経歴

事業を実施する際の責任体制と、技術的な裏づけとなるスタッフの経歴を記載してください。

8. 特にアピールしたいこと

提案団体の専門性、独自性、先駆性、実績など、アピールしたいことを自由に記載してください。